

令和4年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	大阪府		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	区分		令和4年度(千円・%)	令和3年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	462,931,510	469,487,091	実質収支比率	3.4	3.1		
市町村名	堺市		地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	454,091,696	461,227,663	経常収支比率	102.4	93.7		
					首都	×	歳入歳出差引	8,839,814	8,259,428	(※1)	(106.1)	(106.0)		
					近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	992,218	967,248	標準財政規模	229,936,747	236,014,076		
							実質収支	7,847,596	7,292,180	財政力指数	0.78	0.79		
人口	令和2年国調(人)	826,161	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	555,416	5,862,344	公債費負担比率	13.7	13.9		
	平成27年国調(人)	839,310			過疎	×	積立金	11,979,174	10,241,007	健全化判断比率				
	増減率(%)	-1.6			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口(※7)	令和05.01.01(人)	821,428	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	8,319,225	2,633,520	連結実質赤字比率	-	-	
	うち日本人(人)	804,827	第1次	1,636	1,738	指数表選定	○	実質単年度収支	4,215,365	13,469,831	実質公債費比率	6.0	6.1	
	令和04.01.01(人)	826,158		第2次	0.5	0.5			基準財政収入額	137,604,038	131,657,516	資金不足比率(※4)		
	うち日本人(人)	811,187	第3次		77,304	82,811			基準財政需要額	179,202,952	174,085,145			
	増減率(%)	-0.6			23.2	24.4			標準税収入額等	172,330,205	164,817,281			
	うち日本人(%)	-0.8		253,723	255,315			経常経費充当一般財源等	235,921,830	232,573,226				
	面積(km ²)	149.83			76.3	75.1		歳入一般財源等	280,261,646	284,671,569				
人口密度(人/km ²)	5,514													
世帯数(世帯)	366,079													
職員の状況(※8)														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	470,126,681	481,398,264			
	市区町村長	1	8,330		一般職員	5,123	16,029,867	3,129	うち公的資金	52,794,762	56,042,141			
	副市区町村長	3	8,415		うち消防職員	1,015	3,102,855	3,057	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	229,800,193	235,523,090			
	教育長	1	7,375		うち技能労務職員	45	139,050	3,090	債務負担行為額(支出予定額)	93,086,816	66,332,745			
	議会議長	1	9,025		教育公務員	3,949	13,384,041	3,389	収益事業収入	2,231,144	2,084,611			
	議会副議長	1	8,075		臨時職員	633	1,795,188	2,836	土地開発基金現在高	-	-			
	議会議員	46	7,410		合計	9,705	31,209,096	3,216	積立金現在高	19,831,798	16,171,849			
					ラスパイレシ指数			100.1	減債基金	1,707,940	9,664,618			
									その他特定目的基金	42,612,060	39,637,694			
一般会計等の一覧														
項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧	
(1) 一般会計		(5) 国民健康保険事業特別会計		(8) 堺市水道事業会計		(10) 後期高齢者医療広域連合(一般会計)		(16) (公財)堺市文化振興財団						
(2) 公共用地先行取得事業特別会計		(6) 介護保険事業特別会計		(9) 堺市下水道事業会計		(11) 後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)		(17) (公財)堺市救急医療事業団						
(3) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		(7) 後期高齢者医療事業特別会計				(12) 大阪広域水道企業団(水道事業会計)		(18) (株)さかい新事業創造センター						
(4) 公債管理特別会計						(13) 大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)		(19) (公財)堺市産業振興センター						
						(14) 大阪府都市ボートレース企業団		(20) (公財)堺市公園協会						
						(15) 関西広域連合		(21) (公財)堺市教育スポーツ振興事業団						
								(22) (地独)堺市立病院機構						

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	156,356,887	33.8	65.4	普通税	140,431,571	89.8	2,355,710
地方譲与税	2,090,684	0.5	0.9	法定普通税	140,431,571	89.8	2,355,710
利子割交付金	114,155	0.0	0.1	市町村民税	73,178,491	46.8	2,355,710
配当割交付金	951,029	0.2	0.4	個人均等割	1,355,419	0.9	-
株式等譲渡所得割交付金	678,847	0.1	0.3	所得割	60,717,551	38.8	-
分離課税所得割交付金	153,094	0.0	0.1	法人均等割	2,447,063	1.6	-
地方消費税交付金	19,199,843	4.1	8.6	法人税割	8,658,458	5.5	2,355,710
ゴルフ場利用税交付金	135,950	0.0	0.1	固定資産税	59,650,982	38.2	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	うち純固定資産税	58,759,493	37.6	-
自動車取得税交付金	14,271	0.0	0.0	軽自動車税	1,423,918	0.9	-
軽油引取税交付金	5,784,499	1.2	2.6	市町村たばこ税	6,178,180	4.0	-
自動車税環境性能割交付金	567,639	0.1	0.3	鉱産税	-	-	-
法人事業税交付金	2,026,564	0.4	0.9	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金等	1,129,666	0.2	0.5	法定外普通税	-	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	1,088,053	0.2	0.5	目的税	15,925,316	10.2	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	41,613	0.0	0.0	法定目的税	15,925,316	10.2	-
地方交付税	42,653,739	9.2	18.7	入湯税	358	0.0	-
普通交付税	41,683,914	9.0	18.7	事業所税	4,910,184	3.1	-
特別交付税	969,735	0.2	-	都市計画税	11,014,774	7.0	-
震災復興特別交付税	90	0.0	-	水利地益税等	-	-	-
(一般財源計)	231,856,867	50.1	98.9	法定外目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	243,836	0.1	0.1	旧法による税	-	-	-
分担金・負担金	3,260,926	0.7	0.0	合計	156,356,887	100.0	2,355,710
使用料	3,608,045	0.8	0.6				
手数料	1,946,451	0.4	0.0				
国庫支出金	129,965,274	28.1	-				
国有提供交付金(特別区調交付金)	9,726	0.0	0.0				
都道府県支出金	28,752,049	6.2	-				
財産収入	4,603,440	1.0	0.2				
寄附金	1,254,066	0.3	-				
繰入金	8,259,430	1.8	-				
繰越金	7,403,395	1.6	0.2				
繰入金	24,032,740	5.2	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-				
うち臨時財政対策債	8,039,800	1.7	-				
歳入合計	462,931,510	100.0	100.0				

区分	令和4年度	令和3年度
徴収率(%)	99.4	99.4
現年計	98.7	98.6
市町村民税	99.2	98.2
純固定資産税	99.5	99.6

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	45,075,303	実質収支	140,554
下水道	7,562,140	再差引収支	-1,578,895
上水道	1,959,709	加入世帯数(世帯)	105,429
その他	15,517	被保険者数(人)	156,450
工業用水道	-	被保険者	96
国民健康保険	8,930,278	1人当り	1.0
その他	26,607,659	保険税(料)収入額	96
		国庫支出金	-
		保険給付費	385

歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	1,231,724	0.3	-	1,231,622
総務費	37,161,538	8.2	878,671	33,135,675
民生費	207,742,657	45.7	1,195,558	91,036,134
衛生費	42,807,939	9.4	960,096	27,367,236
労働費	463,529	0.1	116,006	372,270
農林水産業費	793,466	0.2	15,010	664,733
商工費	2,958,003	0.7	-	2,014,876
土木費	43,924,098	9.7	21,178,062	19,832,625
消防費	11,802,808	2.6	1,760,095	8,628,487
教育費	66,358,097	14.6	5,355,957	49,099,138
災害復旧費	37,542	0.0	-	30,686
公債費	38,794,778	8.5	-	38,505,803
諸支出名	15,517	0.0	-	15,517
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	454,091,696	100.0	31,459,455	271,934,802

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	276,871,508	61.0	153,905,627	152,960,595	66.4
人件費	87,577,903	19.3	73,917,558	73,460,796	31.9
うち職員給	62,085,433	13.7	49,177,835	-	-
扶助費	150,597,348	33.2	41,580,787	41,092,517	17.8
公債費	38,696,257	8.5	38,407,282	38,407,282	16.7
元利償還金	38,696,257	8.5	38,407,282	38,407,282	16.7
内 うち元金	35,304,323	7.8	35,015,348	35,015,348	15.2
内 うち利子	3,391,934	0.7	3,391,934	3,391,934	1.5
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	145,723,191	32.1	113,939,797	82,961,235	36.0
物件費	54,913,548	12.1	40,526,319	34,585,234	15.0
維持補修費	5,088,656	1.1	3,696,569	3,675,369	1.6
補助費等	32,789,361	7.2	29,071,387	17,266,679	7.5
うち一部事務組合負担金	15,390	0.0	15,390	15,390	0.0
繰出金	35,553,454	7.8	28,122,337	27,433,953	11.9
積立金	16,412,885	3.6	12,506,885	-	-
投資・出資金・貸付金	965,287	0.2	16,300	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	31,496,997	6.9	4,089,378	-	-
うち人件費	1,046,481	0.2	874,961	-	-
普通建設事業費	31,459,455	6.9	4,058,692	-	-
うち補助	17,772,319	3.9	580,300	-	-
うち単独	13,266,636	2.9	3,477,392	-	-
災害復旧事業費	37,542	0.0	30,686	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	454,091,696	100.0	271,934,802	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和4年度 大阪府堺市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	455,380	446,729	8,651	7,658	10,054	531,388	
2 公共用地先行取得事業特別会計	2,007	2,007	0	-	786	2,930	
3 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	458	269	189	189	7	2,319	
4 公債管理特別会計	57,607	57,607	0	-	42,684	-	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	821,428人	(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	804,827人	(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	149.83km ²		実質公債費比率	6.0	%
歳入総額	462,931,510千円		将来負担比率	-	%
歳出総額	454,091,696千円		市町村類型	H30 政令市 R01 政令市 R02 政令市	
実質収支	7,847,596千円		(年度毎)	R03 政令市 R04 政令市	
標準財政規模	229,936,747千円				
地方債現在高	470,126,681千円				

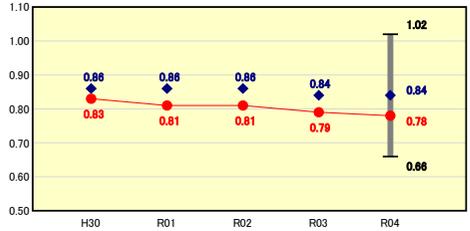


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力

財政力指数 [0.78]

類似団体内順位 14/20 全国平均 0.49 大阪府平均 0.69

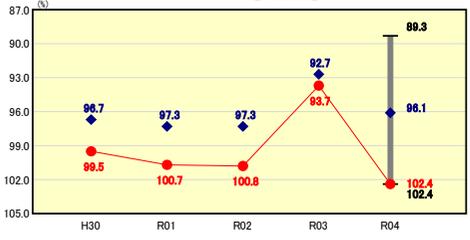


財政力指数の分析欄
 令和4年度は、基準財政収入額の増加が必要額の増加を上回ったため、単年度としては、財政力指数を上昇させる方向に作用したものの、3カ年平均で求められる財政力指数は下降した。
 類似団体平均を下回る状況が続いている原因としては、令和元年度と比べ必要額が大きく増加しているのに対し、収入額の増加が必要ほど拡大していないためであることから、市税の徴収強化等による歳入の確保に努め、指数の改善を図る。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [102.4%]

類似団体内順位 20/20 全国平均 92.2 大阪府平均 94.4

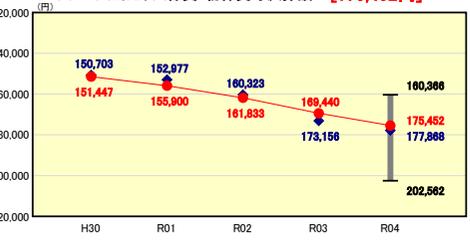


経常収支比率の分析欄
 令和4年度は、令和3年度に減債基金に積立を行った臨時財政対策債償還基金費分を活用し、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことやエネルギー価格高騰に伴う光熱費の増等による物件費の増加及び社会福祉費の増による扶助費の増加等により分子となる歳出経常一般財源が増加した結果、経常収支比率が前年度から8.7ポイント上昇し、102.4%となった。
 臨時財政対策債の発行抑制は一時的な要因であるものの、扶助費をはじめとした義務的経費が引き続き増加している状況も踏まえると今後も経常収支比率が上昇する可能性が高いことから、社会保障関係費の適正化に資する施策の実施に加え、市税の徴収強化等による歳入の確保や、行財政改革を一層推進し、引き続き財政構造の改善に取り組む。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [175,452円]

類似団体内順位 8/20 全国平均 160,081 大阪府平均 147,735



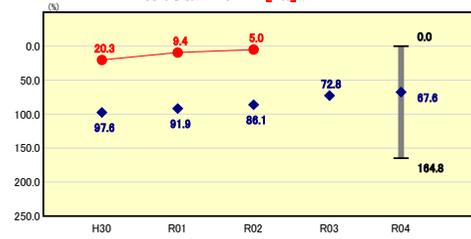
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 令和4年度は、人件費は人事委員会勧告内容の実施や職員数の増等により増加した。物件費は、小学校及び特別支援学校の学校給食費を2・3学期無償化し、年度を通じて食材費高騰への支援を実施したほか、職員が使用するグループウェア(メールや庁内掲示板機能等)の整備を行ったこと等により増加した。維持補修費は減少したものの、全体としては増加した。
 令和5年1月に策定した「持続可能な財政運営に向けた取組」に基づき、時間外勤務の縮減に取り組むなど、コストの低減を図る。

令和4年度 大阪府堺市

将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位 1/20 全国平均 8.8 大阪府平均 0.0

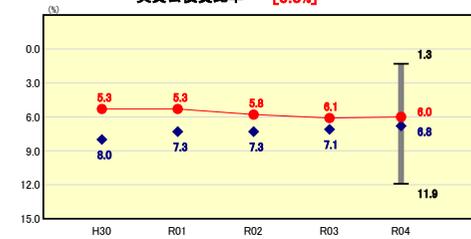


将来負担比率の分析欄
 令和3年度は、臨時財政対策債償還基金費として追加交付された地方交付税を減債基金に積み立てたこと、市有地売却による財産収入を公共施設等特別整備基金に積み立てたこと等によって充当可能基金が増加したことなどにより、充当可能財源等が将来負担額を上回ったために算定されなかった。
 令和4年度は、市債残高の減少等により将来負担額が減少しており、引き続き充当可能財源等が将来負担額を上回っているため、算定されなかった。
 今後も計画的な財政運営を行い、健全性の維持に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [6.0%]

類似団体内順位 8/20 全国平均 5.5 大阪府平均 2.7



実質公債費比率の分析欄
 令和4年度は、第三セクター等改革推進債の償還が終了したこと等により分子となる地方債の元利償還額が減少した結果、市債償還3カ年平均で算定される同比率は前年度から0.1ポイント改善し、6.0%となった。
 類似団体平均を下回っているため、現在の水準維持に努める。

定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [11.81人]

類似団体内順位 11/20 全国平均 8.25 大阪府平均 8.49

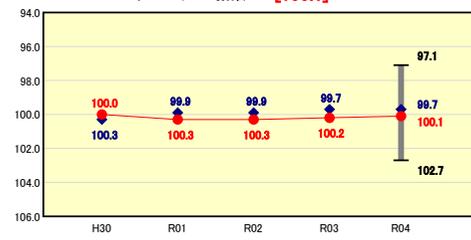


人口1,000人当たり職員数の分析欄
 令和4年度は、総務・企画部門における組織新設に伴う職員数の増があった。また消防部門において、各消防車両への人員配置の見直しに伴う職員数の増があった。
 今後の定員管理については、定年引上げ等も踏まえた上で、本市を取り巻く状況を勘案した体制を構築する。

給与水準 (国との比較)

ラスバイス指数 [100.1]

類似団体内順位 9/20 全国市平均 98.7 全国町村平均 96.3



ラスバイス指数の分析欄
 令和4年度は、採用と退職に伴い職員構成が変動したことで、前年度から平均給料月額が下がったことから、ラスバイス指数は0.1ポイント低下し100.1となった。

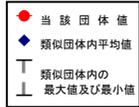
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

大阪府堺市

経常収支比率の分析

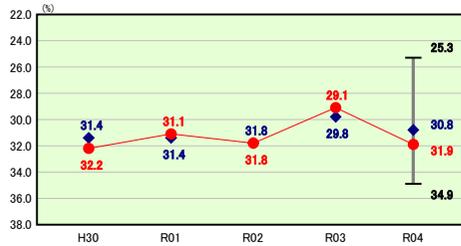
人口	821,428	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	804,827	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	149.83	km ²	実質公債費比率	6.0	%
歳入総額	462,931,510	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	454,091,696	千円	市町村類型	H30 政令市 R01 政令市 R02 政令市	
実質収支	7,847,596	千円	(年度毎)	R03 政令市 R04 政令市	
標準財政規模	229,936,747	千円			
地方債現在高	470,126,681	千円			



※ 市町村類型は、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

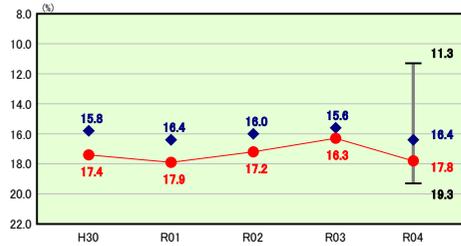
類似団体内順位 10/20 全国平均 25.9 大阪府平均 26.2



人件費の分析欄
 令和3年度は、共済組合負担金の増加等により分子となる歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、前年度から2.7ポイント減の29.1%となった。
 令和4年度は人事委員会勧告内容の実施や職員数の増等により分子となる歳出経常一般財源が前年度より増加したことに加え、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことにより、前年度から2.8ポイント増の31.9%となった。

扶助費

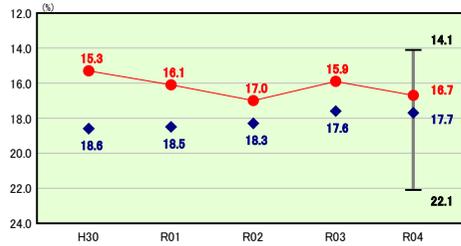
類似団体内順位 14/20 全国平均 12.5 大阪府平均 17.3



扶助費の分析欄
 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの解消等により子ども医療扶助費が増加したことなどもあり、分子となる歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、0.9ポイント減の16.3%となった。
 令和4年度は、認定こども園等の給付費や障害者(児)自立支援給付の増により分子となる歳出経常一般財源が前年度より増加したことに加え、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことにより、前年度から1.5ポイント増の17.8%となった。

公債費

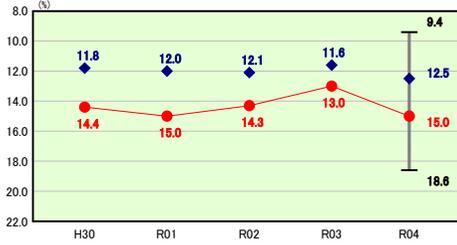
類似団体内順位 9/20 全国平均 16.0 大阪府平均 15.4



公債費の分析欄
 令和3年度は、阪神高速道路大和川線事業や阪神高速道路出資金、市民会館建替え事業に係る市債の償還額が増加したことなどにより分子となる歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、1.1ポイント減の15.9%となった。
 令和4年度は、第三セクター等改革推進債に係る市債の償還額が減少したことなどにより分子となる歳出経常一般財源が前年度から減少したものの、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことにより、前年度から0.8ポイント増の16.7%となった。

物件費

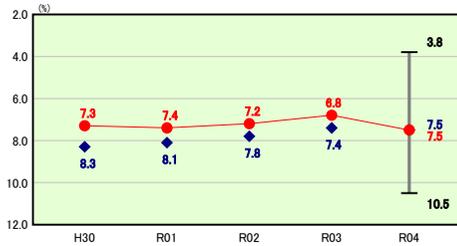
類似団体内順位 16/20 全国平均 14.9 大阪府平均 13.1



物件費の分析欄
 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるバスポートセンター運営事業に係る経費の減少などに加え、分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、1.3ポイント減の13.0%となった。
 令和4年度は、エネルギー価格高騰による光熱費の増加やふるさと納税業務委託の増加等により分子となる歳出経常一般財源が前年度より増加したことに加え、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことにより、前年度から2ポイント増の15.0%となった。

補助費等

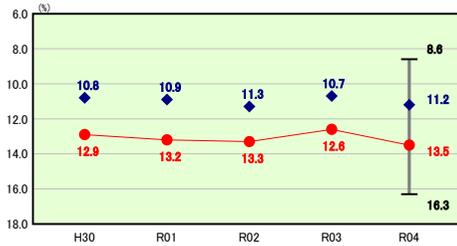
類似団体内順位 14/20 全国平均 10.5 大阪府平均 9.5



補助費等の分析欄
 令和3年度は、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、0.4ポイント減の6.8%となった。
 令和4年度は、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことにより、前年度から0.7ポイント増の7.5%となった。

その他

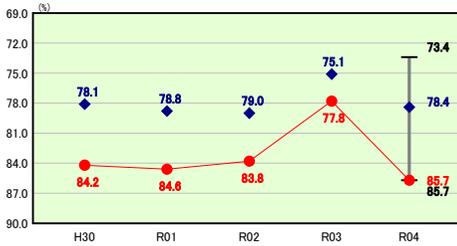
類似団体内順位 19/20 全国平均 12.4 大阪府平均 12.9



その他の分析欄
 令和3年度は、分子となる国民健康保険事業、介護保険事業の各特別会計への繰入金が増加しているが、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、0.7ポイント減の12.6%となった。
 令和4年度は、分子となる後期高齢者医療事業、国民健康保険事業、介護保険事業の各特別会計への繰入金の増加に加え、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことにより、前年度から0.9ポイント増の13.5%となった。

公債費以外

類似団体内順位 20/20 全国平均 76.2 大阪府平均 79.0



公債費以外の分析欄
 令和3年度は、扶助費の増加等により分子となる歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、比率が大幅に低下した。
 令和4年度は、令和3年度に減価基金に積立を行った臨時財政対策債償還基金費を活用し、臨時財政対策債の発行を抑制したことにより分母となる歳入経常一般財源が減少したことやエネルギー価格高騰に伴う光熱費の増等による物件費の増加及び社会福祉費の増による扶助費の増加等により分子となる歳出経常一般財源が増加した結果、比率が大幅に上昇した。
 臨時財政対策債の発行抑制は一時的な要因であるものの、扶助費をはじめとした義務経費が引き続き増加している状況も踏まえ今後経常収支比率が悪化する可能性が高いことから、社会保障関係費の適正化に資する施策の実施に加え、市税の徴収強化等による歳入の確保や、行政改革を一層推進し、引き続き財政構造の改善に取り組む。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

大阪府堺市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

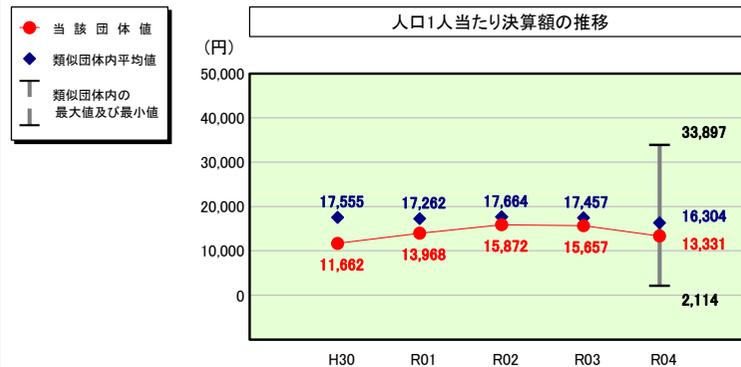
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	87,577,903	106,617	106,216	0.4
一部事務組合負担金(補助費等)	917	1	93	▲98.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	827,513	1,007	1,081	▲6.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	2,083,028	2,536	1,912	32.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,046,481	1,274	1,291	▲1.3
▲退職金	▲4,505,681	▲5,485	▲7,284	▲24.7
合計	87,030,161	105,950	103,314	2.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.81	11.33	0.48
ラスパイレース指数	100.1	99.7	0.4

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

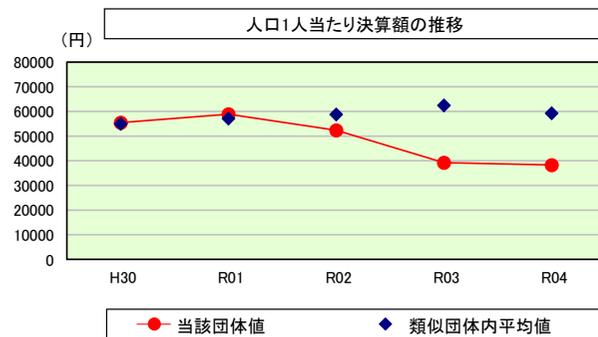


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	32,100,779	39,079	30,951	26.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1,792	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	7,938,887	9,665	21,367	▲54.8
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	5,437,857	6,620	9,606	▲31.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	129	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	63,904	78	1,458	▲94.7
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲10,083,049	▲12,275	▲17,360	▲29.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲24,508,246	▲29,836	▲31,639	▲5.7
合計	10,950,132	13,331	16,304	▲18.2

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H30	46,479,372	55,480	▲0.6	54,945	3.9	▲4.5
うち単独分	21,440,281	25,592	0.3	29,293	8.4	▲8.1
R01	49,148,343	58,875	6.1	57,132	4.0	2.1
うち単独分	21,690,610	25,983	1.5	30,126	2.8	▲1.3
R02	43,536,832	52,361	▲11.1	58,766	2.9	▲14.0
うち単独分	18,811,132	22,624	▲12.9	29,363	▲2.5	▲10.4
R03	32,412,252	39,233	▲25.1	62,482	6.3	▲31.4
うち単独分	16,132,810	19,528	▲13.7	34,626	17.9	▲31.6
R04	31,459,455	38,298	▲2.4	59,288	▲5.1	2.7
うち単独分	13,266,636	16,151	▲17.3	32,670	▲5.6	▲11.7
過去5年間平均	40,607,251	48,849	▲6.6	58,523	2.4	▲9.0
うち単独分	18,268,294	21,976	▲8.4	31,216	4.2	▲12.6

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

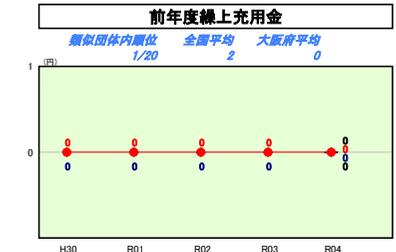
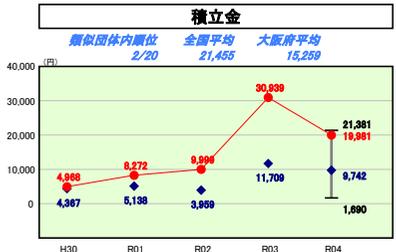
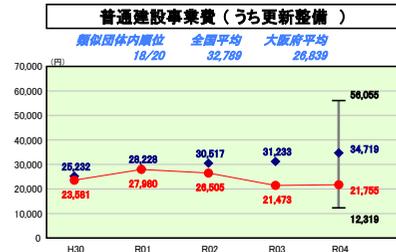
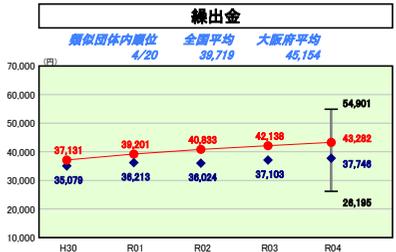
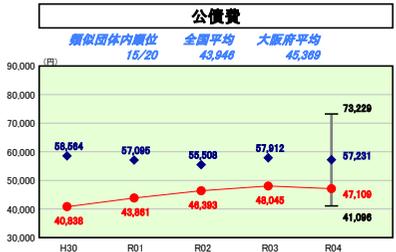
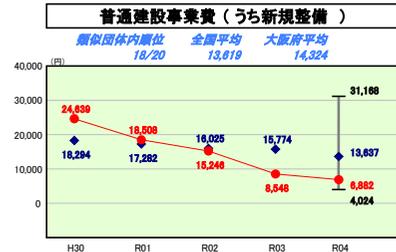
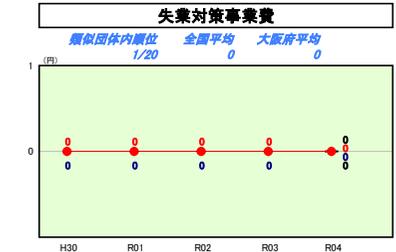
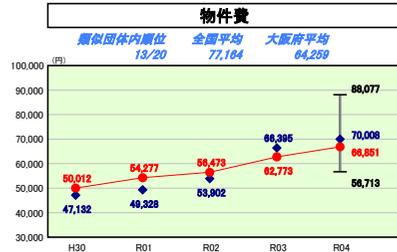
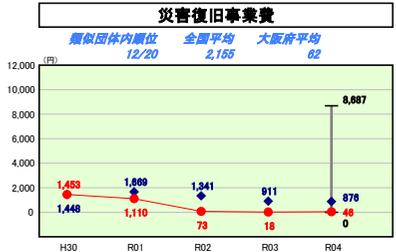
令和4年度

大阪府堺市

人口	821,428人(05.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	804,827人(05.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
外国人	149,831人	実質公債費比率	6.0%
歳入総額	482,831,510千円	将来負担比率	-%
歳出総額	454,091,896千円	市町村類型	H30 政令市 R01 政令市 R02 政令市
実質収支	7,847,596千円	(年度毎)	R03 政令市 R04 政令市
標準財政規模	229,836,747千円		
地方債現在高	470,126,681千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

○人件費は、類似団体平均と比較すると令和3年度まで低位で推移していた。令和4年度は、人事委員会勧告内容の実施や職員数の増等による増加により類似団体平均を上回った。
 ○物件費は、類似団体平均と比較すると令和2年度まで高位で推移していた。令和4年度は、小学校及び特別支援学校の学校給食費を2・3学期無償化し、また年度を通じて食材費高騰への支援を実施したこと等により増加したものの、前年度に引き続き類似団体平均を下回った。
 ○扶助費は、生活保護率が類似団体と比較して高いこともあり、高位で推移している。令和4年度は、障害者自立支援給付費等や新型コロナウイルス感染症対策費が増加したものの、子育て世帯への臨時特別給付金の支給が大幅に減少したため、前年度より減少となった。
 ○積立金は、令和4年度は令和3年度決算剰余金や翌年度以降に還付が必要となる国費・府費の収入超過分について財政調整基金に積立を行ったものの、令和3年度に行った臨時財政対策債償還基金費として追加交付された地方交付税の減償基金への積立や市有地売却による財産収入の公共施設等特別整備基金への積立など一時的な要因による積立が大幅に減少したため、前年度より減少となった。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

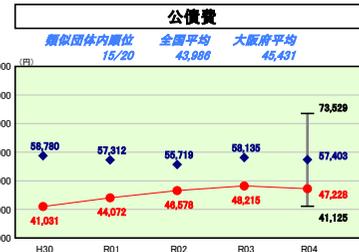
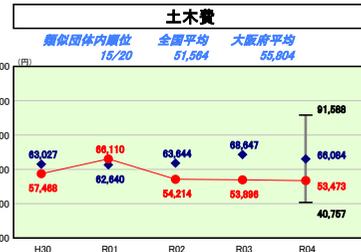
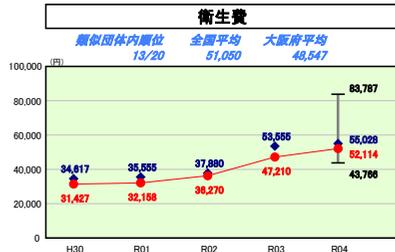
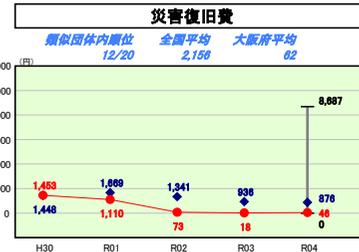
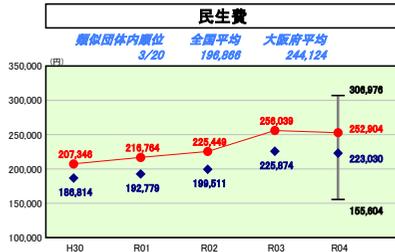
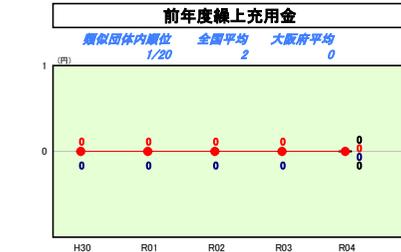
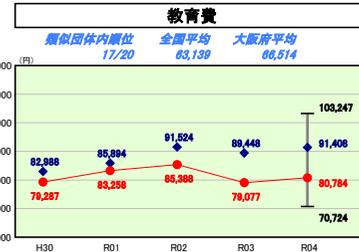
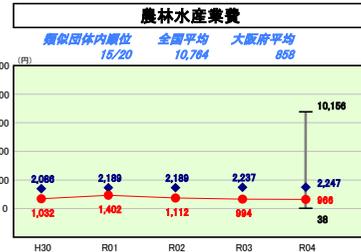
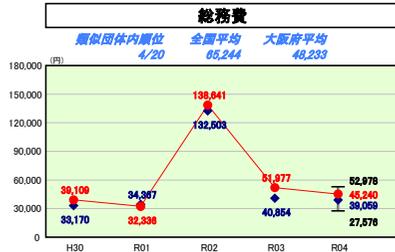
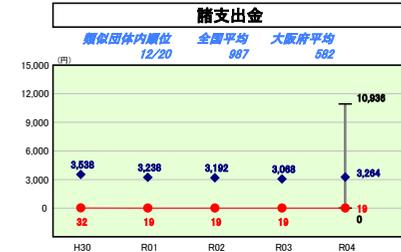
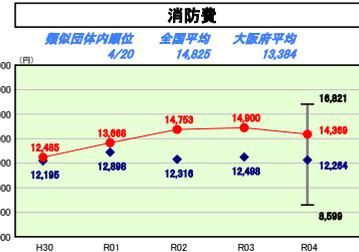
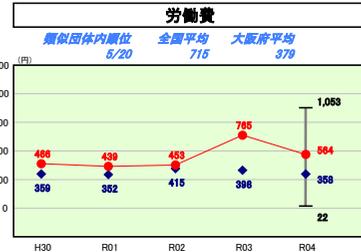
令和4年度

大阪府堺市

人口	821,428人(05.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	804,827人(05.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
世帯	149,833世帯	実質公債費比率	6.0%
歳入総額	482,831,510千円	将来負担比率	-%
歳出総額	454,091,896千円	市町村類型	H30 政令市 R01 政令市 R02 政令市
実質収支	7,847,596千円	(年度毎)	R03 政令市 R04 政令市
標準財政規模	229,836,747千円		
地方債現在高	470,126,681千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

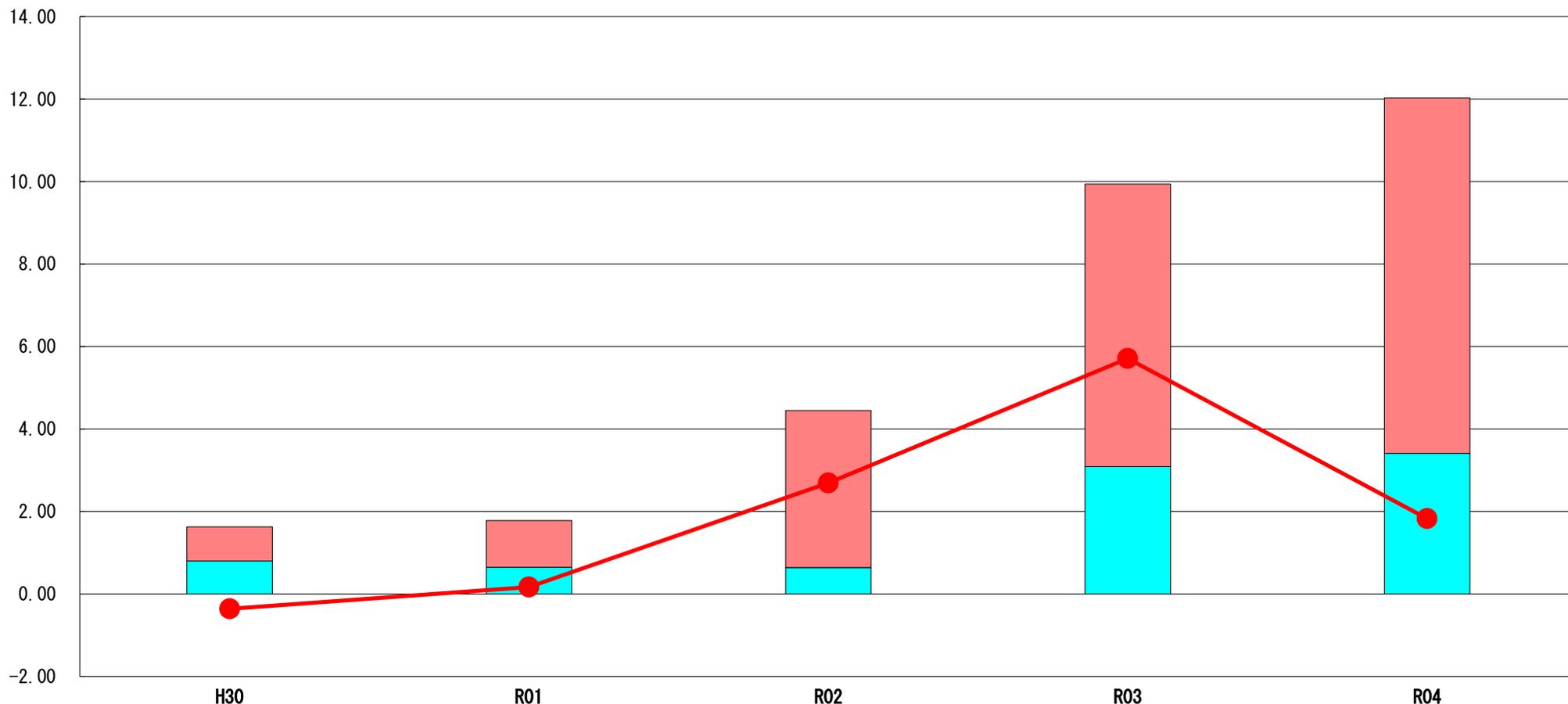
- 民生費は、類似団体と比較して高位で推移しており、令和4年度は、障害者自立支援給付費等が増加したものの、子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給が減少したことにより、前年度より減少した。
- 衛生費は、類似団体と比較して低位で推移しているものの、令和2年度以降新型コロナウイルス感染症対策の実施により増加しており、令和4年度は水道料金減免に伴う水道事業会計繰上金金の増もあり、前年度より増加した。
- 土木費は、令和2年度以降、大型事業が完了したこと等により類似団体と比較して低位で推移している。令和4年度は、土地売却収入の積立金の減少により前年度より減少した。
- 教育費は、類似団体と比較して低位で推移している。令和4年度は、小学校及び特別支援学校の学校給食費を2・3学期無償化し、また年度を通じて食料費高騰への支援を実施したことなどにより、前年度より増加した。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和4年度

大阪府堺市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		0.83	1.13	3.81	6.85	8.62
 実質収支額		0.80	0.65	0.64	3.09	3.41
 実質単年度収支		▲ 0.36	0.17	2.69	5.71	1.83

分析欄

標準財政規模に占める財政調整基金残高は、令和4年度においては、令和3年度決算剰余金や令和5年度以降還付が必要である国費・府費の収入超過分等を積み立てたことにより、一時的に増加した。

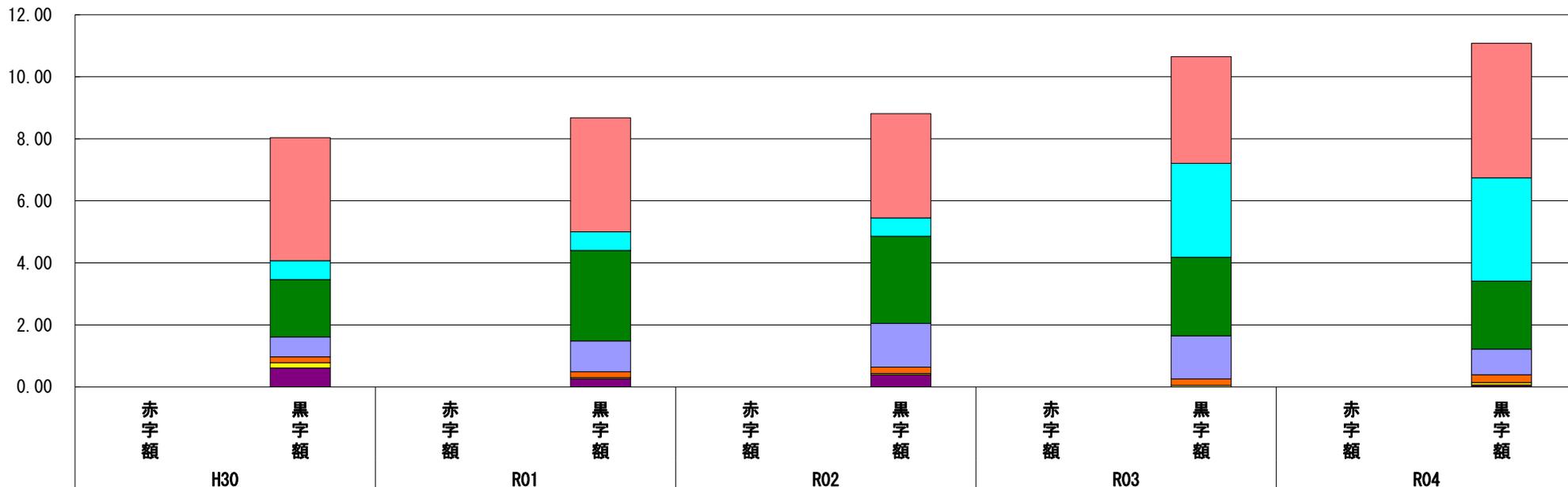
標準財政規模に占める実質収支額は、令和2年度以降増加傾向である。市税収入が過去最高となったことに加え、地方消費税交付金等の交付金が増加したこと等により、前年度より増加

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

大阪府堺市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H30	R01	R02	R03	R04
堺市水道事業会計		3.97	3.68	3.36	3.44	4.34
一般会計		0.61	0.60	0.59	3.03	3.33
堺市下水道事業会計		1.85	2.92	2.81	2.53	2.19
介護保険事業特別会計		0.64	0.99	1.41	1.39	0.83
後期高齢者医療事業特別会計		0.19	0.19	0.21	0.21	0.25
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		0.17	0.04	0.04	0.05	0.08
国民健康保険事業特別会計		0.61	0.26	0.39	0.00	0.06
公共用地先行取得事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

引き続き全ての会計で実質収支が収支均衡又は黒字若しくは資金不足が発生していないため、連結実質赤字比率は生じていない。

一般会計においては、行財政に関する不断の見直しにより、引き続き現在の水準の維持に努める。

その他会計においても、例えば国民健康保険事業特別会計では、納付勧奨や差し押さえ等、保険料の収納率向上を図ることで、引き続き現在の水準の維持に努める。

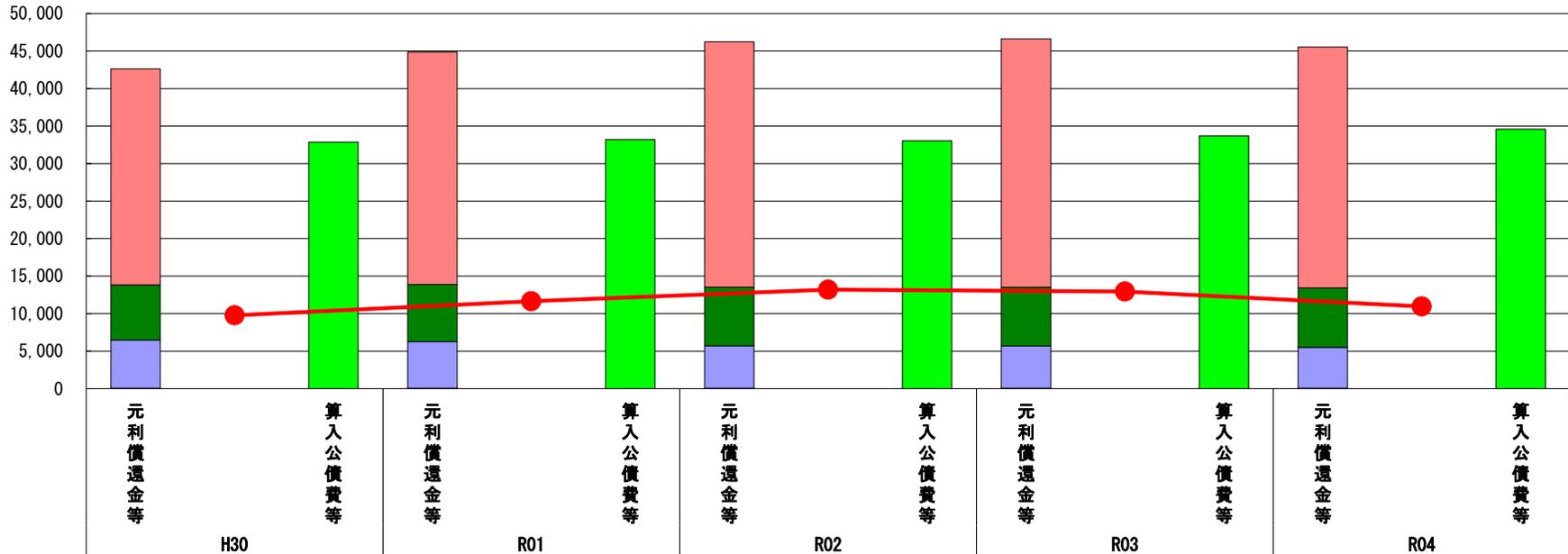
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

大阪府堺市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等 (A)	元利償還金		28,810	30,984	32,689	33,116	32,101
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		7,343	7,614	7,820	7,831	7,939
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		6,424	6,206	5,659	5,622	5,438
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		62	62	63	63	64
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		32,868	33,205	33,034	33,697	34,591
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		9,771	11,661	13,197	12,935	10,951

分析欄
 元利償還金は、第三セクター等改革推進債の償還が完了したことなどにより減少した。更に、算入公債費等が基準財政需要額の増により増加したため、実質公債費比率の分子は令和3年度から減少した。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

減債基金積立状況等 (注)		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		7,343	7,613	7,820	7,938	7,938
	前年度末減債基金残高 (D)		30,092	33,767	37,279	39,611	44,211
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		29,987	33,601	37,182	39,520	44,125

分析欄
 毎年、1/30ずつ積立を実施しており、積立不足は生じていない。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

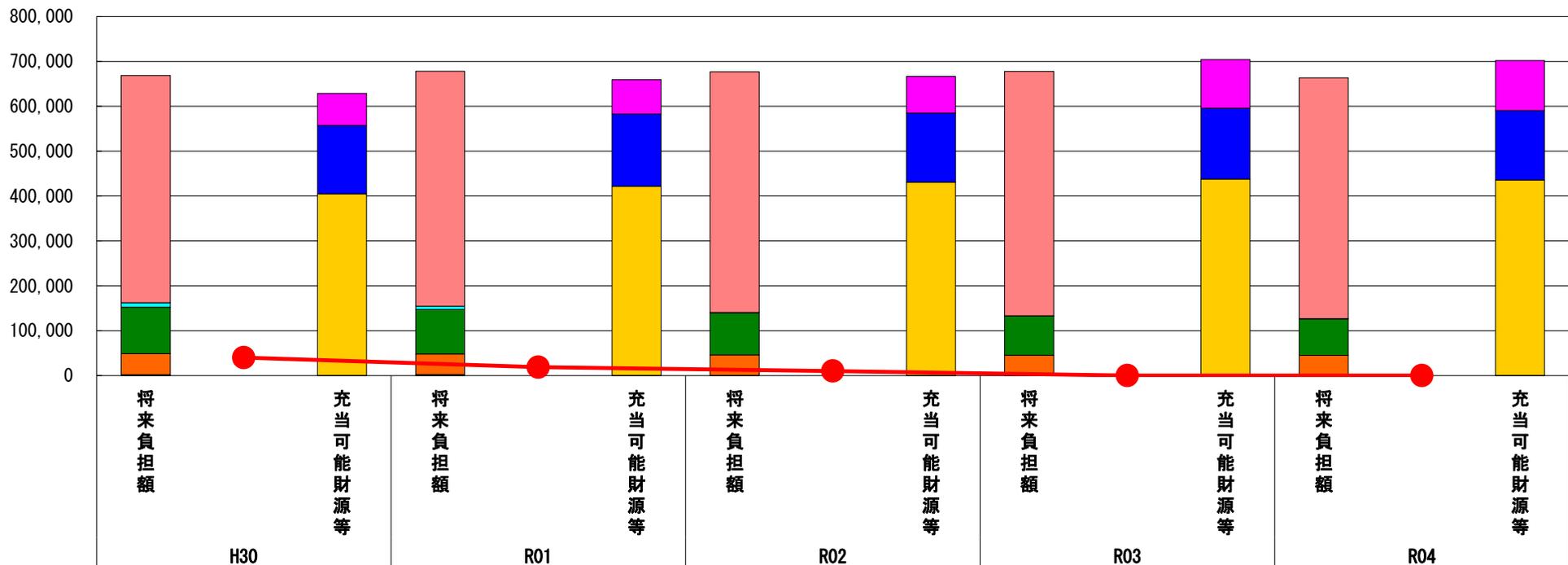
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

大阪府堺市

(百万円)



(百万円)

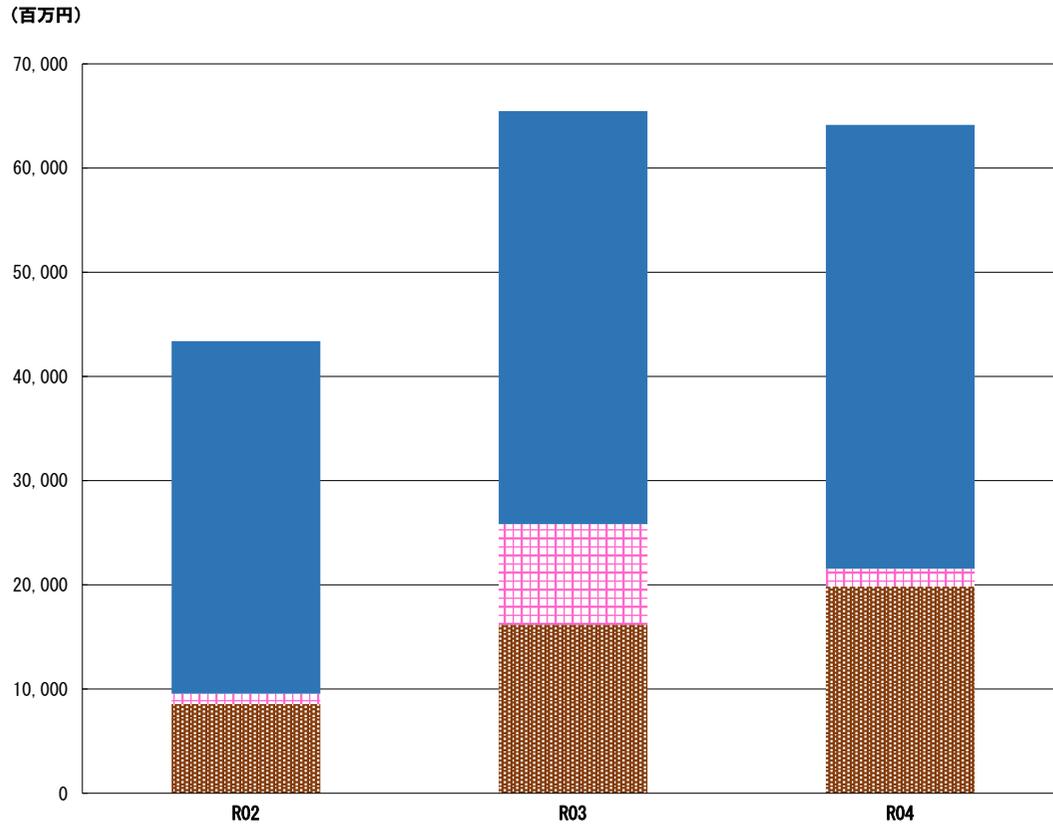
分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		506,757	523,491	536,222	544,352	536,637
	債務負担行為に基づく支出予定額		10,059	7,473	987	645	581
	公営企業債等繰入見込額		103,307	99,006	93,570	87,551	81,374
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		46,731	45,974	45,898	45,178	45,017
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,059	2,133	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		71,350	76,287	81,399	108,080	111,060
	充当可能特定歳入		152,298	161,221	154,177	158,003	154,806
	基準財政需要額算入見込額		405,207	421,910	430,979	437,980	436,040
(A) - (B)	将来負担比率の分子		40,058	18,659	10,121	▲ 26,336	▲ 38,296

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、全体として償還額が発行額を上回ったため、減少に転じている。債務負担行為に基づく支出予定額は、事業進捗により前年度に比べ減少している。公営企業債等繰入見込額は、企業会計の市債残高の減等により引き続き減少している。充当可能基金は、財政調整基金や公共施設等特別整備基金等の増加により、前年度に比べ増加している。充当可能特定歳入については、主に地方債の償還に充当可能な都市計画税の金額において、都市計画税を充当できる地方債残高が減少しているため、減少している。これらのことから、将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、算定されなかった。今後も計画的な財政運営を行い、健全性の維持に努める。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		8,564	16,172	19,832
減債基金		990	9,665	1,708
その他特定目的基金		33,842	39,638	42,612
公共施設等特別整備基金		18,862	25,018	27,689
泉北丘陵地区整備基金		5,271	5,125	4,998
地域福祉推進基金		2,345	2,167	1,957
産業活性化基金		1,331	1,345	1,464
フェニーチェ堺芸術文化創造基金		1,246	1,169	1,069
基金残高合計		43,397	65,474	64,152

令和4年度 大阪府堺市

基金全体

(増減理由)
 ○令和4年度は、以下の要因により基金残高全体としては減少した。(▲1,322百万円)
 (増加要因)
 ・財政調整基金について、令和3年度に積み立てた国費・府費の収入超過分を取り崩したが、令和3年度決算剰余金や令和5年度以降還付が必要となる国費・府費の収入超過分等を積み立てたことにより増加した。(＋3,660百万円)
 ・その他特定目的基金について、市有地売却による財産収入等を公共施設等特別整備基金に積み立てたこと等により増加した。(＋2,974百万円)
 (減少要因)
 ・減債基金について、令和3年度に積み立てた臨時財政対策償還基金費を取り崩したこと等により減少した。(▲7,957百万円)
 (今後の方針)
 ○「堺市基金活用指針」に則した効果的な活用を行う。
 ○経済事情の著しい変動や大規模災害等の不測の事態に備えつつ、持続可能な財政運営を行うため、財源調整機能は財政調整基金へ集約し、300億円程度の確保を基本とする。

財政調整基金

(増減理由)
 ○令和3年度に積み立てた国費・府費の収入超過分を取り崩したが、令和3年度決算剰余金や令和5年度以降還付が必要となる国費・府費の収入超過分等を積み立てたことにより増加した。(＋3,660百万円)
 (今後の方針)
 ○財政調整機能は財政調整基金に集約し、年度間の財源調整と大規模災害等への備えとして300億円程度を確保する。

減債基金

(増減理由)
 令和3年度に積み立てた臨時財政対策償還基金費を取り崩したこと等により減少した。(▲7,957百万円)
 (今後の方針)
 ○今後の市債償還額を踏まえ、必要な残高を確保する。

その他特定目的基金

(基金の用途)
 ○公共施設等特別整備基金
 本市の公共公益施設の整備事業等の資金に充てるため
 ○泉北丘陵地区整備基金
 本市の泉北丘陵新住宅市街地開発事業の施行地区（その周辺地区を含む。）における公共公益施設の整備事業等の資金に充てるため
 (増減理由)
 ○令和4年度においては、以下の要因によりその他特定目的基金の残高が増加した。
 ・市有地売却による財産収入を公共施設等特別整備基金に積み立てた。(＋2,671百万円)
 (今後の方針)
 ○基金ごとの目的に応じた事業に活用する。
 ○市有財産等の売却を行った際には、将来の整備や大規模改修等に備えて積み立てる。